

平成28年度 新人看護職員研修カリキュラム

日程	領域	研修項目	教育目的	教育目標	
4月1日	9:00~9:15	新人看護職員研修概要	オリエンテーション		
	9:15~9:45		看護部組織について	・組織における役割、心構えの理解と適切な行動	1、病院及び看護部の理念を理解し、行動する 2、病院及び看護部の組織と機能について理解する 3、チーム医療の構成員としての役割を理解し、協働する 4、同僚や他の医療従事者と適切なコミュニケーションを図る
	9:50~10:30		各部署紹介	・各部署の特徴を知り、今後の自己の看護観につなげることが出来る	1、各部署の特色を理解することができる
	10:30~11:00	基本的姿勢と態度	社会人としてのマナー	・社会人としての責任を自覚する ・主体会病院の職場環境に適應する(ルール、マナー、エチケット)	1、社会人としての身だしなみ、表情、挨拶、言葉使い、態度を身につける
	11:00~11:30	新人看護職員研修概要	新人看護技術チェックリスト	・自己評価及び他者評価により、看護実践能力を強化する	1、チェックリストの内容を理解し、日々、活用できる 2、一年間に習得すべき知識・技術の到達目標を理解できる
	13:30~14:00	安全管理	医療安全管理対策	・医療安全管理に必要な基本的知識、方法を知る ・医療安全管理に必要な基本的知識、方法を知る	1、正しい方法で投薬でき、誤嚥防止に努める 2、事故防止のための環境整備ができ、転倒転落防止策がとれる 3、インシデント報告の積極的な取り組みが行え、医療安全管理体制の理解ができる
	14:00~14:30		院内感染対策	・患者の安全を確保するため、医療関連感染の発生を未然に防止し、発生した感染症には拡大しないよう速やかに制圧終息を図る	1、スタンダードプリコーション(標準予防対策)が実施できる 2、感染経路に応じた防護用具が選択できる 3、無菌操作の必要性を理解し、実施できる 4、院内の医療廃棄物の取り組みを理解し、処理できる 5、針刺し事故防止対策に努める
	14:35~15:05	情報管理	身体拘束・個人情報保護管理	・自施設において患者が危険なく身体を保護するための行動制限を理解する ・医療における情報管理を理解する	1、患者の生命、または身体を保護する為、やむを得ない場合の身体拘束行動を十分理解する 2、施設内の医療情報に関する規定の理解 3、患者に対し、適切な情報提供を行なう 4、プライバシーを保護し、医療情報や記録物を扱う 5、個人情報保護、カルテ開示を理解する
	15:10~15:30	災害、防災管理	災害時の対応	・災害発生時の対応、役割、心構えを理解する	1、火災発生時、地震発生時、患者の生命を守る方法を理解する 2、災害時の持ち出し袋の活用方法
	15:35~16:15		災害設備	・施設内における消火設備の設置場所及び使用法を知る	1、各部署内における消火器、消火栓の設置場所の確認 2、防火シャッター、排煙扉の設置場所と操作方法を知る 3、夜間、休日時の防災システムの方法を知る
4月2日	9:00~10:30	創傷管理技術	体交 ポジショニング 褥瘡(OHスケール)	・褥瘡の発生予防と早期治癒を図るための必要な対策を整備する	1、褥瘡予防に努める(安全安楽を保ち、体交、ポジショニングができる) 2、褥瘡と合併する感染予防の実施ができる(OHスケールの評価ができる)
	10:40~11:10	安全管理	ルート管理	・輸液、尿道カテーテル等の必要性を理解し、安全にルートを取り扱うことが出来る	1、ルートの閉塞、屈曲やねじれ、接続の緩みや漏れ等がないか観察できる 2、苦痛のない体位がとれているか観察、援助ができる 3、ルートに対する不安感や苦痛を感じないよう援助する
4月4日	9:00~10:00	排泄援助技術	導尿・浣腸	・患者の状態に合わせた排泄援助を安全・安楽に提供する	1、患者の状態に合わせた排泄援助の行為が選択できる 2、必要物品が準備でき、清潔操作で行なうことができる 3、排泄物の観察ができ、異常の発見ができる
	10:05~11:00	症状・生体機能管理技術	パルスオキシメーター・シャント音の確認・透析室の見学	・パルスオキシメーターを使用し、生体機能における状態が理解できる ・透析患者におけるシャントについての知識を習得する	1、患者の状態に応じてパルスオキシメーターの必要性が判断でき、値に応じた対応ができる 2、透析患者のシャントの意味を知る 3、透析患者シャント音を実際に聴取することができる、また異常音がわかる
	11:00~11:30	フォローアップ	1年後の私へ	・1年後の自分のあるべき姿を思い描き、看護観を構築する	1、初心を忘れず、日々の看護を提供することができる 2、自分が立案した目標に、より近づくことができる
	13:30~14:40	情報管理	電子カルテ 個人情報保護管理	・院内の医療情報に関する規定を理解する。 ・電子カルテの機能を理解し、ルールを遵守し、正しく入力することができる。	1、プライバシーを保護して医療情報を取り扱うことができる 2、業務に必要な基本操作を理解できる 3、必要な情報やデータを正確に入力することができる 4、院内の運用を理解できる
	14:50~15:50	呼吸循環を整える技術	酸素吸入・喀痰吸引・ネブライザー	・適切な判断ができ、正確な方法で実施することにより、患者の安全を確保する	1、患者の状況に応じ、適切な酸素マスクの選択ができる 2、正確な方法で吸引が実施でき、的確な判断ができる 3、目的を理解し、適切なネブライザーが実施できる

日程	領域	研修項目	教育目的	教育目標	
4月6日	9:15～10:15	与薬の技術	注射・点滴	・身体的侵襲の高い注射、輸液を安全かつ確実に実施できる	1、注射、点滴する際の注意事項を理解できる 2、注射、点滴する際の必要物品、準備、手順が理解できる 3、施行後の観察事項を理解できる 4、危険な薬剤の取扱が理解できる
	10:20～11:30	症状・生体機能管理技術	採血・血糖測定	・検体検査の各々の目的を把握し、各検体の特徴を理解したうえで検体を取り扱うことができる	1、各検査の適した容器を選択でき、採取方法や採取量、採取時間、採取後の管理方法が理解できる 2、血糖測定が正しく行なえ、異常値を判断できる
	13:30～14:30	清潔・衣生活援助	着衣交換 入浴介助	・患者の状態に合わせた清潔援助を安全・安楽に提供する	1、援助方法が患者に苦痛を与えていないか判断できる 2、皮膚や関節の状態など、全身状態を観察できる
	14:40～15:20	食事援助技術	食事援助・経管栄養法	・食事の重要性を認識し、状態に適した栄養補給を提供する	1、治療食の理解ができる(院内約束食事箋の活用) 2、主体会独自のパントリー方式を理解する 3、日常生活の基本となる食生活を楽しく摂取できる援助を行なう 4、経管栄養を理解し、適切な実施が行なえる 5、患者・家族に目的を説明でき、効果的な栄養法が実施できる
	15:30～16:30	清潔・衣生活援助	口腔ケア	・患者に合った口腔ケアの方法を選択することができ、心理的苦痛を配慮した援助を提供できる	1、口腔ケアの目的、必要性を理解し、患者に適した方法が実施できる 2、口腔ケア実施時の観察項目を理解できる
4月13日	9:15～10:15	安全管理	危険予知トレーニング	・臨床の現場において、危険を予知し、安全を守るための行動がとれるようになる	1、KTY(危険予知トレーニング)についての理解ができる 2、危険予測ができる 3、安全回避のためのとるべき行動がわかる
	10:20～11:30	与薬の技術	薬(内服・点眼・坐薬) 麻薬・インスリン	・内服薬(経口、経管)、点眼薬、坐薬、与薬についての基本を習得し、安全、正確に与薬が実施できる ・麻薬について正しい知識が習得できる ・インスリン療法についての知識が熟知でき、使用方法が理解できる	1、薬剤について正しい知識を習得する 2、医師の指示書のもと患者確認ができ、正確に与薬できる 3、患者家族へわかりやすい言葉で説明できる 4、状況に応じた与薬後の観察ができる 5、当院における与薬ルールを理解する 1、麻薬についての用法、効果、副作用の理解 2、それぞれの麻薬についての保管方法、薬剤部との受け渡し方法を知る 3、インスリンの種類、効果、作用機序の習得
	13:30～14:30	活動休息援助技術	患者移動・移送	・安楽に配慮しながら安全に移動、移送介助ができる	1、移動、移送の方法を理解し実践できる 2、周囲の環境に留意し、危険を回避することができる 3、患者の状態にあった、移動、移送方法を選択できる
4月20日	9:15～10:15	基本的姿勢と態度	医療現場における倫理	・看護倫理に関する基本的な知識を確認し、看護師として患者の権利を守り、倫理的な行動が取れる	1、患者の権利と看護師の責務、倫理原則を看護師の倫理綱領を通して確認し、看護実践につなげる
	10:20～11:30	与薬の技術	中心静脈注射の挿入介助 ガウンテクニック	・清潔・不潔の区別をすることができる ・感染予防に対する倫理的な態度を身につけることができる	1、必要物品が準備でき、清潔操作の介助ができる 2、ガウンテクニックが正しく行なうことができる
4月22日	14:00～15:00	症状・生体機能管理技術	血液ガス分析・輸血・血培・AED・心電図	・検査の目的を理解し、正確な知識と技術を習得する ・不整脈など心電図の変化おいち早く捉えることができる	1、血液ガス分析の準備と介助ができる 2、輸血の手順が理解でき、正確に輸血が実施できる 3、血液培養の準備ができ、正確に採血を行なうことができる 4、AEDの使用方法和管理場所を認識する 5、心電図モニターを装着でき、基本波形を理解し、異常の発見ができる
	15:00～16:00	与薬の技術	輸液ポンプ・人工呼吸器	・輸液ポンプ、人工呼吸器の目的を理解し、正確な知識と技術を習得する	1、正しい輸液ポンプの使用方が実践できる 2、輸液、種類、方法などに沿ったポンプを選ぶことができる 3、正しい人工呼吸器の使用方が実践できる 4、それぞれのアラーム対応ができる
4月27日	9:15～10:15	逝去時の援助	エンゼル処置	・最後の看護ケア「エンゼル処置」の知識と技術を習得する	1、亡くなられた患者様への尊厳をもって、エンゼル処置ができる 2、エンゼル処置の根拠を理解し、正しく処置ができる 3、家族の思いにふれ、「その人らしさ」を活かしたケアの実践ができる
	10:20～11:30	フォローアップ	振り返り	・社会人としてのマナーを身に付け、職場環境に慣れる。	1、職場の雰囲気慣れ、他のスタッフに自分から声をかけることができる
6月22日	9:15～11:00	安全管理	多重課題	・臨床の場で、多重課題・時間切迫の状況下で優先順位を選択し、安全に正しく看護ケアが提供できる	1、限られた時間内で優先順位を決めることができる 2、応援の必要性を自分で判断することができる

日程		領域	研修項目	教育目的	教育目標
7月6日	13:30～14:30	救命救急処置技術	夜勤前準備研修 救急カート	・急患急変時における立場役割が理解でき、実践できる	1、日祝日・夜間における外来診療の介助ができる 2、救急カート内の物品・使用方法・手順が理解できる
	14:30～15:30		夜間の急変、その対応と ドクターコール		1、夜間の急変時の対応ができる 2、正確・簡潔に医師に報告することができる
	15:30～16:30	フォローアップ	リフレッシュ研修	・3か月間を振り返り、新人同士で思いや悩みやを共有する	1、心身をリフレッシュすることで、次の看護につなげることができる
7月27日	9:00～11:30	業務管理	看護計画の立案	・看護過程における必要な情報収集、整理ができ、病態生理、エビデンスを踏まえた個別性ある看護計画が展開できる	1、SOAPそれぞれに記述する内容が理解でき、整理できる 2、得られた情報から優先順位を考慮した問題点を明確にできる 3、必要な看護、観察項目を上げることができ、また、実践できる 4、実践した看護、得た情報から評価でき、次へとつなげることができる
9月	9:00～11:30	救命救急処置技術	BLS研修	・患者急変時の対応、心肺蘇生の正しい知識と技術を習得	1、患者急変時のBLSアルゴリズムを正しく理解する(最初のABC) 2、自分の行うべき役割を理解し、実践できる 3、蘇生時の介助法を理解し、実践できる